

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和4年10月28日(2022.10.28)

【公開番号】特開2022-162008(P2022-162008A)

【公開日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【年通号数】公開公報(特許)2022-194

【出願番号】特願2022-132251(P2022-132251)

【国際特許分類】

H 01 R 12/91(2011.01)

10

【F I】

H 01 R 12/91

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月18日(2022.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項1】

端子の長手方向での一端側に回路基板へ接続のための接続部そして他端側に相手接続体との接触のための接触部が形成された該端子と、該端子を複数配列保持するハウジングとを有し、該ハウジングが、上記端子を介して回路基板へ取り付けられる固定ハウジングと、該固定ハウジングとは別部材として形成され該固定ハウジングに対して可動で上記端子の接触部を配置している可動ハウジングとを有する回路基板用電気コネクタにおいて、

上記端子は、固定ハウジングにより保持される固定側被保持部と、可動ハウジングにより保持される可動側被保持部と、上記固定側被保持部と上記可動側被保持部の間に設けられた弾性部とを有し、

上記固定ハウジングは、その上端が上記可動側被保持部よりも下方に位置しており、

30

上記弾性部は、上記固定ハウジングの上端から突出しない位置で上記固定側被保持部から回路基板の面に平行な成分をもつ方向に延びる横弾性部と、該横弾性部から回路基板へ下方に向け延び弯曲部を経て上方へ延び且つ回路基板の面に平行で端子配列方向に対して直角なコネクタ幅方向にて上記横弾性部に対し可動ハウジング側に位置する弯曲弾性部とを有することを特徴とする回路基板用電気コネクタ。

40

50